

(様式1)

自己評価票

作成日 平成26年4月1日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870102654		
法人名	株式会社トゥルーケア		
事業所名	グループホームばなな	ユニット名	2丁目
所在地	〒311-4153 茨城県水戸市河和田町4433-40		
自己評価作成日	平成26年4月1日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

入居者一人ひとりが安心して生活を過ごせるよう配慮させていただいております。
また、ばななでは、3つの理念として、一人ひとりの尊厳を最大限に大切にすること、
身体的、精神的拘束が無いように努力していくこと、
地域との関わりを大切にし、日々交流を深められるように努力していくこと、
の3点を挙げています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念を玄関先入口に掲示している。その理念を職員に共有し日々話し合いで実践できるように努めている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している。散髪ボランティアやシルバーリハビリ体操のボランティアの方が月2回来所してくれているので、入居者様は楽しみにしております。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2カ月毎に実地している運営推進会議の開催時に参加者の方と認知症の方の理解や接し方を話し合い、又、ボランティアの方に来所される方にも支援の方法など説明しております。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の近況報告をさせて頂き、市職員や家族の方から率直な意見を挙げて貰ってます。それらをサービスの向上に活かしています。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	勉強をさせて頂くという姿勢で、日常的に連絡を取らせて頂いております。又、運営推進会議の際にも事業所の情報を伝えながら、直面している課題等、助言を頂いております。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所では身体拘束については行わない方向で貫いてきている。又、事業所内にて身体拘束廃止委員会を作り、職員間で勉強を行っております。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員一人一人が虐待を認識し些細な事でも見過ごさずに注意できる環境を作り、虐待防止に努めている。又、ケアカンファレンスで話し合いの機会を設けております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見制度を学ぶ機会を持つようにしたい。個々の入居者様に必要であれば関係者と話し合い活用できるように支援体制をとっていききたい。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族様に十分な説明を行い、不安や疑問が生じていないか確認して同意を頂いております。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族さまが来所された際に意見を反映できるように意見箱を設置しております。また、面会や運営推進会議等にも家族の要望を聴きだした意見を運営に反映させております。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	本社の人間が頻繁に事業所に立ち寄り、職員一人一人の意見や不満を聴く体制を取っております。又、フロアーの管理者も日頃から職員の意見・不満を聴けるように心掛けております。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個別個別の雇用体制を実地しており、各自の能力に応じ課題や目標を投げかけております。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に他事業所・近隣の施設で行われる勉強会に参加させて頂いております。又、管理者が職員の現在の介護力を常に把握しまして、他フロアーの管理者・ホーム長と相談しまして個々に合った教育方針を常に模索しております。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣のグループホームと合同で勉強会や行事を行い交流の場を設けております。又、定期的に勉強会に参加させて頂き、情報交換などもさせて頂いております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	時間を掛けて本人の話を聴き不安があれば相談に乗るようにしている。安心してサービスを受けてもらえるよう、時には提案し実行・検討を繰り返し行わせて頂いております。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	制度・事業所についての理解が得られるように時間を掛けて話し合いを持てるよう努力しております。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様・ご家族様・関係者から情報を頂きながら初期に必要な支援を見出し、検討し実行させて頂いております。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人が人らしく成り立って頂けるように職員には些細な事でも、又は介助中でも入居者様に気配りを伴った声かけが行えるように心掛けて頂いております、まだまだ弱いと感じ、一番の身近な目標であると考えております。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	報告や相談の連絡をまめに行い、ご家族様と入居者様との関わりが切れないよう努めています。又、面会時には日常の報告や相談を行っております。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方々との関わりは自由に行って貰って頂いております。その時々でこちらから連絡させて頂く事もあります。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様の方の性格や相性などを考慮し、時には職員が間に入り、互いに触れ合いの機会を作ったり関わりをもてるように支援しております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	事例は少ないのですが、良好な関係を作れる様に、連絡をする際には世間話も含め思い出話などを取り入れる様にしております。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意思疎通が困難な入居者様には家族等の来荘時に話を伺ったりしまして、その情報をケアに反映させております。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に必ずご本人様とご家族様に確認させて頂いております。又、生活歴から得意であった事などについては生活の場で発揮して頂けるように強化してお聞きさせて頂いております。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別個別で記録を取っており、変化があった時には情報を共有し、観察の強化に努めております。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員同士は勿論であるが、ご本人様や家族と話をする機会がある時に、相談や意見をもらえるように努めております。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別毎に記録は記載されており、必要に応じて連絡ノートを活用して職員間でより深い情報共有できるよう努めています。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その都度、入居者様のニーズに答えられるよう、職員・入居者様・ご家族様で話し合いを行っております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	弱いと感じております。地域の方々の協力を得て、より豊かな生活が営めるようにこれからの課題にしたいと考えております。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院があるのでこちらをかかりつけ医として希望される方が多いが、入居者様やご家族様の要望により選択して頂いております。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションと契約により24時間連携が可能となっております。又、週1回、看護師が訪問に来られ、心身のチェックや相談に乗って頂いております。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院していても本人の状態の事などの情報を共有しております。入退院の際には介護サマリーにて情報を共有しています。入院中はご本人様が不安にならないよう定期的にグループホームケアマネが面会に訪問しております。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時や、重度化してきた際に説明を繰り返すようにしております。ご家族様の方針がメインとなるが、ご家族様の選択肢が1つでも多くなるように情報を提供し支援させて頂いております。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	フロアーに入居者様の急変時、又は事故発生時に対応した対策マニュアルを設置しております。また定期的ではないが、訪問看護師により事故発生時における対策の勉強会を開いて頂いております。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中・夜間を想定しまして、月1回の職員会議の際に職員による避難訓練を実地させて頂いております。又、災害を想定しまして避難場所の情報が職員で共有できるように、災害伝言ダイヤルを使用しております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員同士、入居者様の声かけには注意を払わせて頂いております。月1回の職員会議にて個人の尊厳を大切にできるように勉強会を行わせて頂いております。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人の生活スタイルを大切にし、本人の思いや希望を達成できるよう、ケアプランに取り入れながら対応しております。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご自身のペースでの生活ができる様配慮しております。全て入居者様の希望通りに支援を行えない場合もあるが、少しでも満足して頂けるようにできるだけ希望に沿った支援を心掛けております。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着衣・髪型など清潔を保たれるように支援させて頂いております。入居以前にご本人様が大切にしていたお洒落を引き続き継続させて頂いております。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人個人にあった調理方法や、おかずを提供させて頂いております。共に入居者様と食事を行い、食事の楽しさを分かち合えるように声かけに配慮しております。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の希望に沿った対応を心掛けています。専門の業者に献立メニューを作成して頂き、食事量・水分摂取量を記録して、かかりつけ医とも相談させて頂き、健康管理に努めさせて頂いております。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨き・義歯の洗浄など個人個人の身体状況に合わせてどの程度まで自立にて行えるか職員間で把握し、ケアを行わせて頂いております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様の身体状況を考慮しまして自立に向けて支援させて頂いております。カンファレンスの際に入居者様の排泄の状況を確認して支援方法を再検討しております。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医や看護師に相談しながら、投薬に頼らない便秘の予防を心掛けております。個人個人に応じてヨーグルトやゼリーを購入しております。軽体操等も取り入れております。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の日時・時間を指定する事なく、できる限り気持ち良く入浴できるようにご本人様のペースに合わせた支援を心掛けております。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の生活リズムに合わせて、座ったままの姿勢でいる事なく休めるように声かけを心掛けております。又、ベッドで休まれている時も室温調整・発汗の有無などに配慮させて頂いております。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬介助の際は必ず2名以上で誤りがないか確認しております。又、定期的に入居者様の内服薬の情報を職員で勉強し、入居者様がどんな薬を内服しているのか把握しております。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人の生活歴を大切にした支援に努めております。全体での行事計画にて入居者様に楽しみのある生活を月に1回提供させて頂いております。日常におけるレクリエーションが弱いので今後の課題と課題と考えております。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様・地域の方々に協力もして頂いて外出支援をもっと行えるように心掛けたいと感じております。又、職員間の連携をもっと強化して外出・ドライブを行える機会を増やしたいと思います。今後の課題と考えております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>全員ではないが、コープ配達サービスを利用して、職員と共にカタログを読み、選び買い物のできる楽しさを支援しております。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>年賀状などにてご家族様とやり取りなどを行っております。希望がない方は特に手紙のやり取りなどでの支援を行っていない為、今後の課題と考えております。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様の心身の状況に合わせて環境を変える等の努力を行っております。視力が悪い入居者様に対して、手すりが少しでも見えやすくなるように赤いビニールテープなどを巻くなどの配慮を心掛けております。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>職員の方で支援を行っております。気の合った入居者様同士での会話はとても心身の状態に良いと感じます。入居者様同士での会話が少なく感じる為、今後の課題と考えております。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居の際に必ずご本人様・ご家族様に在宅での生活環境に近づけられるように協力を依頼しております。入居以前まで畳に布団で休まれていた方に対して、ベッドで休まれる事がないように配慮しております。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個人個人の能力に対しての自立支援を心掛けております。カンファレンスの際に入居者様が着衣一つにとっても、どの程度まで自立で行えるが職員間で把握・再検討しまして改めて自立に向けて支援させて頂いております。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない